



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 CEO (氏名) 古川 國久
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長 (氏名) 横山 裕司 (TEL) 06-6369-0130
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	65,192	26.6	2,018	59.3	2,338	52.0	1,152	101.9
27年3月期第1四半期	51,504	△6.9	1,267	△49.5	1,538	△44.7	570	△64.3

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 1,251百万円(92.7%) 27年3月期第1四半期 649百万円(△60.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
28年3月期第1四半期	円 銭 23.32	円 銭 —
27年3月期第1四半期	14.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
28年3月期第1四半期	百万円 194,701	百万円 74,225	% 37.9
27年3月期	202,562	75,864	37.2

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 73,787百万円 27年3月期 75,308百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 55.00	円 銭 55.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	52.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

27年3月期期末配当金の内訳 普通配当 48円00銭 記念配当 7円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	121,000	△3.5	4,000	△30.8	4,100	△34.2	1,700	△46.8	34.41
通期	300,000	9.8	14,800	8.8	15,100	8.5	8,300	11.1	168.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期1Q	49,640,700株	27年3月期	49,640,700株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	235,515株	27年3月期	235,515株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期1Q	49,405,185株	27年3月期1Q	40,205,185株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景にした円高是正・株価上昇により企業業績や雇用・個人消費の改善傾向が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの属する医療業界におきましては、医療機関の機能分化と地域連携・在宅医療の強化、日本医療の海外展開促進等、大きな制度転換点を迎えております。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業におけるプロジェクト案件の計上、メディカルサプライ事業における前期M&Aを実施した会社の業績寄与等により、概ね計画通りに推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は65,192百万円（前年同四半期連結累計期間比26.6%増）、営業利益は2,018百万円（前年同四半期連結累計期間比59.3%増）、経常利益は2,338百万円（前年同四半期連結累計期間比52.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,152百万円（前年同四半期連結累計期間比101.9%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。また、当第1四半期連結会計期間より、従来、「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントは、「ライフケア事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

①トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、一部メーカー系における単品販売が計画を下回ったものの、プロジェクト案件の完成が概ね計画通り進捗するとともに、新規受注も拡大いたしました。

この結果、売上高は19,439百万円（前年同四半期連結累計期間比69.6%増）、セグメント利益（営業利益）は1,174百万円（前年同四半期連結累計期間比85.7%増）となりました。

②メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、昨年度、循環器領域を中心とした会社をM&Aしたこと、新規SPD施設が受託拡大したこと等により順調に推移いたしました。

この結果、売上高は34,481百万円（前年同四半期連結累計期間比16.6%増）、セグメント利益（営業利益）は417百万円（前年同四半期連結累計期間比0.3%減）となりました。

③ライフケア事業

ライフケア事業におきましては、新規大型施設の入居者数が順調に積み上がりましたが、介護報酬の大幅なマイナス改定により厳しい経営環境となりました。

この結果、売上高は4,975百万円（前年同四半期連結累計期間比2.3%増）、セグメント損失（営業損失）は0百万円（前年同四半期連結累計期間はセグメント損失（営業損失）2百万円）となりました。

④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新店舗を出店したこと及び在宅対応の強化、経営資源の効率的配分等により好調に推移いたしました。

この結果、売上高は5,914百万円（前年同四半期連結累計期間比9.5%増）、セグメント利益（営業利益）は513百万円（前年同四半期連結累計期間比94.1%増）となりました。

⑤その他

その他におきましては、動物病院事業は計画通りに推移した一方、理化学機器の販売については低調に推移いたしました。

この結果、売上高は381百万円（前年同四半期連結累計期間比98.6%増）、セグメント利益（営業利益）は22百万円（前年同四半期連結累計期間比16.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は194,701百万円となり、前連結会計年度末と比べて7,861百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が3,785百万円、電子記録債権が602百万円、商品及び製品が402百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が14,613百万円減少したこと等によるものであります。

負債は120,476百万円となり、前連結会計年度末と比べて6,222百万円減少いたしました。その主な要因は、電子記録債務が3,460百万円、短期借入金が649百万円、賞与引当金が639百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が9,249百万円、未払法人税等が2,398百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は74,225百万円となり、前連結会計年度末と比べて1,638百万円減少いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が1,152百万円増加した一方、配当金の支払により利益剰余金が2,717百万円減少したこと等によるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末の自己資本比率は37.9%（前連結会計年度末比0.7ポイント増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね当初予定通りに推移しており、平成27年5月8日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金が29百万円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	38,676	42,461
受取手形及び売掛金	72,636	58,022
電子記録債権	1,373	1,976
リース投資資産	4,365	4,316
商品及び製品	8,292	8,694
仕掛品	1,902	2,082
原材料及び貯蔵品	755	967
その他	8,151	10,163
貸倒引当金	△101	△73
流動資産合計	136,051	128,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,518	13,357
土地	8,595	8,587
建設仮勘定	750	1,120
賃貸不動産(純額)	12,706	12,629
その他(純額)	2,564	2,638
有形固定資産合計	38,135	38,333
無形固定資産		
のれん	10,173	9,808
その他	1,049	1,012
無形固定資産合計	11,223	10,820
投資その他の資産		
長期貸付金	7,195	7,041
その他	12,354	12,215
貸倒引当金	△2,478	△2,394
投資その他の資産合計	17,071	16,862
固定資産合計	66,430	66,017
繰延資産		
株式交付費	80	72
繰延資産合計	80	72
資産合計	202,562	194,701

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	66,707	57,458
電子記録債務	4,614	8,074
短期借入金	1,590	2,240
未払法人税等	3,316	918
賞与引当金	1,464	2,104
その他	11,466	12,899
流動負債合計	89,160	83,694
固定負債		
社債	2,060	2,060
長期借入金	29,569	28,679
退職給付に係る負債	1,914	1,934
資産除去債務	288	290
その他	3,705	3,817
固定負債合計	37,538	36,782
負債合計	126,698	120,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,553	15,553
資本剰余金	20,385	20,356
利益剰余金	38,236	36,671
自己株式	△447	△447
株主資本合計	73,727	72,133
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,326	1,401
為替換算調整勘定	200	207
退職給付に係る調整累計額	54	46
その他の包括利益累計額合計	1,580	1,654
非支配株主持分	555	437
純資産合計	75,864	74,225
負債純資産合計	202,562	194,701

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	51,504	65,192
売上原価	44,934	57,591
売上総利益	6,569	7,601
販売費及び一般管理費	5,302	5,582
営業利益	1,267	2,018
営業外収益		
受取利息	81	77
受取配当金	40	46
負ののれん償却額	164	60
持分法による投資利益	12	19
貸倒引当金戻入額	10	91
その他	83	133
営業外収益合計	393	428
営業外費用		
支払利息	91	72
その他	30	36
営業外費用合計	121	108
経常利益	1,538	2,338
特別利益		
固定資産売却益	2	—
補助金収入	14	4
その他	0	0
特別利益合計	17	4
特別損失		
固定資産売却損	7	2
固定資産除却損	7	1
投資有価証券評価損	—	220
その他	2	1
特別損失合計	17	226
税金等調整前四半期純利益	1,538	2,117
法人税、住民税及び事業税	975	1,000
法人税等調整額	△29	△61
法人税等合計	946	938
四半期純利益	592	1,178
非支配株主に帰属する四半期純利益	21	25
親会社株主に帰属する四半期純利益	570	1,152

四半期連結包括利益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	592	1,178
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	47	75
為替換算調整勘定	24	6
退職給付に係る調整額	△14	△7
その他の包括利益合計	57	73
四半期包括利益	649	1,251
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	623	1,225
非支配株主に係る四半期包括利益	26	25

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	11,461	29,583	4,864	5,402	51,312	191	51,504	—	51,504
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	276	187	5	—	469	5	474	△474	—
計	11,737	29,771	4,869	5,402	51,781	197	51,978	△474	51,504
セグメント利益 又は損失(△)	632	418	△2	264	1,312	27	1,340	△72	1,267

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△72百万円には、セグメント間取引消去29百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック プロデュース 事業	メディカル サプライ 事業	ライフケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	19,439	34,481	4,975	5,914	64,810	381	65,192	—	65,192
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	321	42	13	—	378	6	384	△384	—
計	19,760	34,524	4,989	5,914	65,189	387	65,576	△384	65,192
セグメント利益 又は損失(△)	1,174	417	△0	513	2,104	22	2,127	△108	2,018

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△108百万円には、セグメント間取引消去19百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△118百万円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4 当第1四半期連結会計期間より、従来、「ヘルスケア事業」としていた報告セグメントは、「ライフケア事業」に名称を変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。これに伴い、前第1四半期連結累計期間につきましても、当第1四半期連結累計期間と同様に「ライフケア事業」と記載しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第1四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。